HERE Technologies、HERE Location Reasoning（HLR）の利用機会を拡大、AWS と共同でリアルワールド AI に地理空間インテリジェンスを提供

- HERE Location Reasoning は、AWS Marketplace や Kiro Power をはじめ、さまざまな AI プラットフォームで利用可能です。信頼性の高い地理空間インテリジェンスを活用することで、AI が現実世界の状況をより的確に理解し、判断できるよう支援します

2026 年 10 月 15 日

アムステルダム ー世界をリードする地図・位置情報サービス企業である HERE Technologies は本日、HERE Location Reasoning（HLR）の利用範囲を拡大したことを発表しました。これにより開発者は、信頼性の高い HERE の地理空間インテリジェンスを、エージェント型 AI システムや実世界で活用される AI アプリケーションに、より簡単に組み込むことが可能になります。HLR は、AWS Marketplace での提供に加え、Kiro Power としても利用できます。

HLR は、HERE Technologies と AWS が継続的に推進する戦略的協業の一環であり、AWS クラウドおよび AWS の AI サービスを最大限に活用し、自動車およびエンタープライズ向けソフトウェア開発を支援することを目的としています。この協業には、2024 年から開始した AWS との 10 年間・10 億米ドル規模のクラウドインフラ契約、AWS を活用した HERE の新たな輸送・物流ソリューションの構築と拡大を目的として 2022 年に締結した戦略的協業契約（Strategic Collaboration Agreement）、さらに 2025 年 9 月に HERE Technologies と AWS が開始した SDV Accelerator が含まれます。SDV Accelerator は、自動車向けソフトウェア開発の強化を目的に、AWS Marketplace で提供される厳選された製品やサービスへのアクセスを簡素化します。

HLR は AWS 上に構築され、Amazon Bedrock AgentCore 上の Model Context Protocol（MCP）サーバーとしてデプロイされており、AI エージェントは地図や位置情報に関する処理を、再現性と信頼性の高い形で実行できるようになります。今回の HLR の提供拡大に

より、AWS Marketplace での従量課金制サブスクリプション、Kiro Power として利用できるほか、Wherobots をはじめ、AWS 上でネイティブに稼働する AI プラットフォーム、エージェント型 IDE、空間データプラットフォームなど、拡大を続けるエコシステムを通じても利用できるようになりました。

この拡張により、企業向け AI アプリケーションは、HERE の信頼性の高い位置情報・地理空間データを活用できるようになります。LLM が得意とする「人間の意図の理解」に加え、現実世界における正確な位置関係や地理的文脈を提供することで、位置情報を必要とする業務やサービスにおいて、より正確で信頼性の高い AI 活用を実現します。開発者は使い慣れたワークフローから HLR を呼び出すことができ、物流分野では配車や配送の最適化、自動車分野では目的地や充電状況を考慮したアシスタント機能、エンタープライズ分野ではフィールドサービス計画、アセット配置、カスタマーサポートの改善などに活用できます。

HLR は、高品質な地図データ、リアルタイム交通情報、ジオコーディング、施設・地点検索、乗用車および商用車向けのルート最適化、EV 充電インテリジェンスなど、現実世界で AI を活用するために必要な推論機能と AI システムをつなぎます。

HERE Technologies Enterprise & AI Solutions 担当 シニアバイスプレジデント Mahesh Shah のコメント：

「生成 AI の価値は、情報を生成することから実世界で意思決定し行動することへと移りつつあります。しかし、そのためには LLM だけでは十分ではありません。AI が現実世界で正しい判断を下すには、『どこで』『何が』『どのような条件の下で起きているか』を正確に理解する必要があります。HERE Location Reasoning は、その現実世界の文脈と位置情報インテリジェンスを AI に提供し、企業が構築する AI システムをより実用的で信頼性の高いものにします」

HERE Technologies は、AWS Data-Driven Everything（D2E）プログラムを通じて、AWS と HERE Location Reasoning（HLR）の開発に取り組みました。これにより、最先端のエージェンティック AI 基盤上で HLR を迅速に展開し、その機能を開発者のワークフローに直接組み込むことが可能になりました。
HERE Technologies と AWS の協業における今回の新たなマイルストーンにより、信頼できるデータと地理空間推論に基づいて現実世界を理解する AI を支援し、AI エージェントの意

図を、現実世界で実行可能な意思決定へとつなげます。

AWS オートモーティブ＆マニュファクチャリング担当 GM、Ozgur Tohumcu 氏のコメント：

「お客様が次世代のエンタープライズ AI エージェントを構築する上で、信頼できるツール、柔軟な開発環境、そして自社のニーズに最適なモデルやアーキテクチャを自由に選択できることが重要です。HERE Location Reasoning は、現実世界を理解し、そこで行動する必要のあるエージェント型 AI アプリケーションに、信頼性の高い空間インテリジェンスをもたらします。AWS Marketplace と Kiro を通じて、こうした機能をより簡単に利用し、開発に活用できるようになります」

地理空間インテリジェンスで AI をグラウンディング

HLR は、エージェントの意図と HERE の地理空間インテリジェンスを結びつけます。空間的なロジックを言語モデルに推測させるのではなく、信頼性の高い HERE のデータとサービスを活用して、位置情報に基づく計算を行います。これにより、誤ったルート、制約条件の見落とし、不正確な到着予想時刻（ETA）が実際のコストにつながるような状況でも、より一貫性があり、説明可能な結果を得ることができます。
HLR は、HERE が提供する幅広い機能をよりシンプルに活用するためのエントリーポイントとして、企業の AI エージェントによる、より信頼性の高い意思決定を支援します。同時に、お客様は LLM、エージェントフレームワーク、アプリケーションアーキテクチャを自由に選択・管理できます。

Omdia チーフ AI アナリスト、Lian Jye Su 氏のコメント：

「AI アプリケーションがコンテンツ生成から実際の意思決定へと進化する中、信頼性の高い空間的コンテキストの重要性がますます高まっています。HERE Location Reasoning は、この課題に対する重要な一歩です。確率的な基盤モデルに決定論的な位置情報処理能力を組み合わせることで、ユーザーの意図の理解と、検証可能で信頼性の高い地理空間情報の理解とのギャップを埋めます。
このアプローチにより、開発者は使い慣れた AI フレームワークをそのまま活用しなが

ら、位置情報に基づく意思決定を信頼できるデータに基づいて行うことができます。HLR は、空間インテリジェンスの信頼性を支えるガードレールとして機能します」

AI エコシステム全体でのアクセスを拡大

今回の最新アップデートにより、企業、開発者、AI エージェントが HERE Location Reasoning（HLR）を利用するための選択肢がさらに広がりました。

- **AWS Marketplace：** AWS Marketplace で HLR の提供を開始したことで、AWS のお客様は、既存の AWS Marketplace アカウントを通じて、HLR の購入および管理をよりスムーズに行えるようになります。

- **Kiro Powers：** HLR が Kiro Power として利用可能になったことで、AWS のエージェント型 IDE および CLI である Kiro を利用する開発者は、日常のコーディングワークフローの中から HLR へ簡単にアクセスできます。タスクで HLR が必要になると、Kiro エージェントが HLR のツール、ドキュメント、ベストプラクティスを自動的に読み込むため、開発環境を切り替えることなく、位置情報を活用したエージェント型 AI のユースケースを構築できます。

- **Agent Plugin 対応パッケージ：**HLR は Agent Plugin に対応しており、OpenAI の Codex、Anthropic の Claude Code、Microsoft の VS Code、Cursor などのコーディングエージェントに加え、主要な基盤モデルを活用して構築されたアプリケーションやエージェントにも容易に統合できます。

- **空間データエコシステム：** HLR は、物理世界のデータを扱う Wherobots AI Context Engine に直接統合されており、Wherobots Spatial AI Tools および MCP Server から利用できます。また、Wherobots 独自のファーストパーティエージェントへの対応も近日中に予定されています。これらの機能により、HERE が提供する信頼性の高いリアルタイムのデータソースや API を活用し、物理世界に関する一貫性と再現性のある回答を得ることができます。Wherobots と HLR を活用したアプリケーション例は、Wherobots Havasu Knowledge Lake で確認できます。

Wherobots CEO、Mo Sarwat 氏のコメント：

「HERE Technologies との提携により、Location Reasoning サービスを、当社の AI コンテキストエンジンを活用して現実世界を決定論的に分析している Wherobots のお客様に直接提供できることを大変うれしく思います。Wherobots は現在、小規模なデータセットから地球規模の大規模なデータセットまでを活用し、AI エージェントが現実世界に関するさまざまな問いに答えられる環境を提供しています。HERE Location Reasoning（HLR）を組み合わせることで、『緊急時に最適なルートはどれか』『最も緊急性が高く、大きな効果が見込める地域に作業員を派遣するには、どのように配車を最適化すべきか』といった、重要な意思決定につながる問いにも対応できるようになります」

HLR の詳細やご利用開始方法については、こちらをご覧ください：
https://www.here.com/solutions/here-location-reasoning

メディア問い合わせ先

HERE Technologies
Vanessa Lee
APAC Media Relations
Vanessa.lee@here.com

HERE Technologies について

HERE は世界を代表する地図・位置情報テクノロジー企業です。1985 年の初期デジタルマップの提供以来 40 年以上にわたり、世界有数の企業のイノベーションを支え続けてきました。現在は、業界で最も新鮮かつ豊富な統合マップを基盤に、多様な業界のニーズに応える製品・サービス・ソリューションを提供し、あらゆるモビリティに新たな可能性を開いています。詳しくは here.com をご覧ください。